

「海洋の健康診断表」総合診断表第2版の公表について

地球温暖化など地球環境に密接に関連した海洋の諸現象を詳細に分析した「海洋の健康診断表」の総合診断表について、海洋の二酸化炭素に関する最新の知見などをより一層充実させ、第2版として公表します。

地球温暖化や数か月～数年スケールの気候には、海洋が密接に関係しています。気象庁では、このような地球環境と海洋の関係について総合的、体系的に理解を深めていただくため、海洋の状態が長期的にどのように変化しているかについて、最新の観測成果や研究の成果を踏まえ、「総合診断表」として平成18年に第1版を公表するとともに、随時気象庁ホームページで更新しています。

このたび、この総合診断表について、海洋の二酸化炭素に関する情報をより一層充実させるとともに、第1版以降に蓄積された観測や解析成果を追加し、総合診断表 第2版として公表します。

第2版の構成は、別紙をご覧ください。

(総合診断表 第2版のURL:<http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/sougou/>)

<総合診断表 第2版の主な掲載内容>

- ・海面水温、海洋の表層及び底層の水温
- ・表面海水中の二酸化炭素濃度、海洋の大気からの二酸化炭素吸収量
- ・海洋の酸性化
- ・エルニーニョ現象及び黒潮
- ・北西太平洋の海洋汚染

なお、最新の診断・データについては、「海洋の健康診断表」定期診断表 <http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/> も併せてご覧ください。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象情報室

電話：03-3212-8341（内線5123）

【海洋の健康診断表について】

気象庁は、地球環境に関連した海洋の現状と今後の見通しなどを定期的に診断する「海洋の健康診断表」定期診断表を平成 17 年 10 月より気象庁ホームページに開設しました。

「海洋の健康診断表」の開設以降、地球温暖化への対応を強化するため、北西太平洋域の二酸化炭素等の観測に重点を置いた高精度海洋観測の成果に基づく、「海洋による二酸化炭素吸収量」や「海洋の二酸化炭素蓄積量」の診断を開始する一方、これまでの長期にわたる海洋気象観測の成果をもとにした「表層水温の長期変化」や「海洋の酸性化」に関する診断を開始しました。

なお、黒潮大蛇行や異常潮位など、社会的に影響の大きい海洋の現象が確認または予測される場合には、臨時的な診断を「臨時診断表」にて公開しています。平成 25 年度は、黒潮流路の南下や高い海面水温など 7 回の臨時診断を行っています。

【海洋の健康診断表 総合診断表について】

定期診断表の各診断項目について詳細に分析を加えた結果を、平成 18 年 3 月に、「総合診断表 第 1 版」として公表しました。

総合診断表の公表以降、一部の診断については、更新を行いました。定期診断表において、診断項目が拡充されたことから、このたび、総合診断表について、二酸化炭素に関する内容を一層充実させるとともに、第 1 版以降に蓄積された観測成果を追加し、「総合診断表 第 2 版」として気象庁ホームページで公表します。

【海洋の健康診断表（総合診断表）第2版の構成】

第1章 地球温暖化に関わる海洋の長期変化

1. 1 海水温
 1. 1. 1 世界の海面水温・表層水温
 1. 1. 2 北西太平洋の底層の水温変化
 1. 1. 3 日本近海の海面水温
 1. 1. 4 日本海固有水
1. 2 海面水位
1. 3 海氷
 1. 3. 1 北極・南極域の海氷
 1. 3. 2 オホーツク海の海氷
1. 4 海洋の温室効果ガス
 1. 4. 1 海洋の温室効果ガス濃度の長期変化
 1. 4. 2 大気－海洋間の二酸化炭素交換量
 1. 4. 3 海洋の二酸化炭素蓄積量

第2章 気候に関連する海洋の変動

2. 1 北太平洋の海洋変動
 2. 1. 1 北太平洋の海面水温・表層水温
 2. 1. 2 表層水塊
2. 2 日本近海の海洋変動
 2. 2. 1 日本近海の海面水温
 2. 2. 2 黒潮
 2. 2. 3 親潮
 2. 2. 4 対馬暖流
2. 3 エルニーニョ現象

第3章 北西太平洋の海洋汚染の状況

3. 1 浮遊プラスチック類
3. 2 浮遊タールボール・油分
3. 3 重金属

そのほかに、次のようなコラム（囲み記事）や付録を掲載しています。

コラム

- ・ 日本近海の異常潮位
- ・ 気象庁の海洋気象観測定線
- ・ 海洋気象観測船による二酸化炭素等の高精度・高密度海洋観測
- ・ 海洋酸性化

付録

- ・ 定期診断表の概要
- ・ 用語・略語集